

章	節	現状と課題	施策の展開	数値目標(県)			は圏域ごとの数値目標			管内現状(~H25)						管内現状(H26.3.6現在)						出典			
				項目	計画策定時現状	H29目標	管内現状(~H25)		管内現状(H26.3.6現在)		管内現状(~H25)		管内現状(H26.3.6現在)		管内現状(~H25)		管内現状(H26.3.6現在)								
3	人材の確保と資質の向上	<p>臨床研修医が都市部に集中する等医師不足は深刻化(本県は中北医療圏へ集中)</p> <p>初期臨床研修医のマッチングではマッチ者数が低い状況</p> <p>地域偏在や産科医、救急勤務医などの過酷な勤務状況</p>	<p>県内の5つの臨床研修病院等と連携し、医学生の県内定着に向けた取り組みを推進</p> <p>医師のキャリア形成支援と一体的に地域の医師確保を支援する仕組みを創設</p> <p>産科医、救急勤務医等の処遇改善に向けた取り組みを支援</p>	医師数	1,887人(H22)	2,130人	H22	243人				医師数 : 266人				医師・歯科医師・薬剤師調査 H26年12月31日現在									
							H24	259人																	
							[歯科医師]	H22: 84人 H25: 85人		歯科医師数 : 86人															
							[薬剤師]	H22: 244人 H25: 251人		薬剤師数 : 248人															
	2	がん、脳卒中等の 治療において、歯科治療や口腔ケア の重要性が増加	がん、脳卒中 医療と歯科医療との連携 を支援	摂食・嚥下指導が可能な歯科医師数	35人(H24)	40人		-				-													
	3	在宅医療のニーズの増加に伴い、 対応可能な薬剤師の確保が必要	実務研修や自主研修等の実施 を促進		-			-				-													
	4	看護職員数は増加している一方、 需要を満たしていない 状況	修学資金の貸与 や潜在看護師等に対する臨床実務研修の実施	就業看護職員数	8,804.7人(H22)	9,634.2人	H22	1753人				1963人				看護職員従事届 平成26年12月31日現在									
		看護に対するニーズに応えられる 質の高い看護師の養成が必要	在宅医療の充実に向けた 訪問看護師の養成や認定看護師の確保 に向けた支援	養成所等卒業生県内就業率	69.9%(H22)	74.8%	H24	-				-													
	9	介護ニーズは増大しているが、 介護従事者の不足 が続いている。	国と連携する中、 介護サービス従事者の人材確保・活用 を推進		-			-				-													
4	地域医療提供体制の整備	1	医療機関を選択するための情報と医療機関内の体制整備に関する情報提供が必要	医療情報の提供 インフォームドコンセントなどの推進 セカンドオピニオンの普及促進	病院機能評価認定病院の割合	28%(H23)	33%	H25: 28.5% (4病院/14病院)						28.5% (4病院/14病院)						日本医療機能評価機構HP 平成27年2月15日現在					
		2	かかりつけ医の 意義 について必ずしも十分に啓発が進んでいない状況	かかりつけ医を持つことの意義 について県民に啓発するとともに診療所情報等の提供	かかりつけ医の定着率	58.7%(H24)	65.0%	59.6%(H23)						-						県民保健医療意識調査					
		分担と連携	処方せんの受取率(医薬分業率)は69.2%であり、全国平均64.6%より高くなっている。	医薬分業への理解を深め、 在宅医療の推進に際し薬剤師の有効活用 を積極的に働きかけることを支援	医薬分業率	69.2%(H24)	80.0%	病院: 100%(H23) 診療所: 79.5%(H23)						-						山梨県病院機能調査					
5	疾病・事業ごとの保健医療の連携体制	がん	<p>がんの予防には生活習慣の改善や関連ウイルスの感染予防、早期治療等が重要</p> <p>がん検診の受診率は各部位ともに低いことから、受診率の向上が課題</p> <p>医療従事者間の連携を重視したチーム医療による質の高いがん治療の提供が必要</p> <p>新たな治療法の開発等を図るため、患者の遺伝子情報を解析する必要</p>	<p>喫煙が健康に及ぼす影響についての周知や禁煙支援プログラムの更なる普及</p> <p>未受診者に対する普及啓発や受診勧奨、検診を受けやすい環境の整備など</p> <p>手術療法、放射線療法、化学療法のチーム体制による医療を推進</p> <p>県立中央病院のゲノム解析センターで遺伝子研究を行い、将来的ながん治療に活用</p>	年度	管内計	山梨市		甲州市		笛吹市		管内計	山梨市		甲州市		笛吹市		<p>参考値: 死亡数(実数): 人口動態 第28表 選択死因別死亡数・率・市町村別</p> <p>地域保健・健康増進事業報告</p> <p>地域保健・健康増進事業報告</p> <p>地域保健・健康増進事業報告</p> <p>地域保健・健康増進事業報告</p> <p>地域保健・健康増進事業報告</p>					
							男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男		女				
					年齢調整死亡率(75歳未満)	78.2(H22)	69	H23	429		110		117		202		448		106		145		197		
							H24	441		126		111		204		448		106			145		197		
					がん検診(胃がん)の受診率	37.4%(H22)	50%(当量は40%)	H23	13.9%	19.0%	12.7%	10.6%	9.6%	18.2%	13.6%	16.2%	20.0%	13.0%	12.9%		13.4%	20.9%	16.2%		
							H24	15.2%	18.6%	12.7%	14.8%	14.5%	17.1%	13.2%	16.2%	20.0%	13.0%	12.9%	13.4%		20.9%	16.2%			
					がん検診(子宮がん)の受診率	31.3%(H22)	50%	H23	39.7%	/	37.5%	/	43.4%	/	38.3%	39.7%	/	39.8%	/		39.9%	/	39.5%		
							H24	42.4%	/	37.2%	/	56.0%	/	34.1%	39.7%	/	39.8%	/	39.9%		/	39.5%			
					がん検診(肺がん)の受診率	31.9%(H22)	50%(当量は40%)	H23	34.3%	25.9%	20.4%	32.8%	37.4%	46.8%	42.5%	43.5%	29.0%	25.0%	36.7%		46.5%	59.5%	53.6%		
							H24	42.3%	27.2%	24.1%	52.7%	63.8%	44.2%	41.7%	43.5%	29.0%	25.0%	36.7%	46.5%		59.5%	53.6%			
					がん検診(乳がん)の受診率	40.9%(H22)	50%	H23	39.2%	/	38.4%	/	40.5%	/	38.7%	32.2%	/	37.1%	/		45.4%	/	22.5%		
							H24	47.0%	/	37.0%	/	68.6%	/	35.5%	32.2%	/	37.1%	/	45.4%		/	22.5%			
					がん検診(大腸がん)の受診率	29.0%(H22)	50%(当量は40%)	H23	24.1%	20.8%	16.6%	20.1%	22.6%	35.1%	29.7%	32.6%	21.9%	18.2%	28.9%		36.6%	44.6%	38.8%		
							H24	29.6%	20.9%	17.8%	33.5%	40.2%	34.4%	30.7%	32.6%	21.9%	18.2%	28.9%	36.6%		44.6%	38.8%			
					2	脳卒中	<p>発症の予防には生活習慣の改善や基礎疾患の適切な治療が必要</p> <p>維持期については地域連携クリティカルパスの未実施等により連携体制が未構築</p>	<p>特定健診や保健指導を通じて、要医療者・要精密検査者の医療機関への受診を勧奨</p> <p>急性期、回復期、維持期の治療を担う関係機関による協働の場を設置</p>	t-PA実施件数	78件(H23)	84件	-						-							
									地域連携クリティカルパスの使用患者数	439人(H23)	475人	-						-							
3	急性心筋梗塞	<p>発症の予防には生活習慣の改善や基礎疾患の適切な治療が必要</p> <p>急性心筋梗塞を疑うような病状が出現した際、速やかな救急要請が必要</p>	<p>高血圧、高脂血症、喫煙、糖尿病などに関する正しい知識の普及・啓発を推進</p> <p>適切な医療機関へ迅速に搬送される体制の更なる充実</p>	心疾患死亡率(人口10万対)	166.4(H23)	160.4	管内	山梨市	甲州市	笛吹市	管内	山梨市	甲州市	笛吹市	管内	山梨市	甲州市	笛吹市	死亡率(人口10万対): 人口動態 第28表 選択死因別死亡数・率・市町村別						
				成人の喫煙率	21.2%(H21)	17.5%			15.3	-	17.8		15.3	18.6	17.8			山梨市: 健やか山梨中間評価アンケート 笛吹市: 健やか山梨中間評価アンケート 甲州市: 平成26年度甲州市健康づくりに関するアンケート調査20歳~64歳							
4	糖尿病	<p>予防には生活習慣の改善やメタボリックシンドローム等に着目した健診・保健指導が重要</p> <p>ICTを利用して検査データ等を管理するシステムの活用が進展</p>	<p>健康診査(特定健診)の受診の必要性について普及啓発</p> <p>ICTを利用したシステムについて、国の方向性を注視しながら普及促進</p>	特定健康診査の受診率	47.3%(H22)	70%	H23	-	33.8%	42.3%	42.7%	-	33.3	49.5	45.5			特定健診・特定保健指導実施結果集計表							
				特定保健指導の受診率	16.0%(H22)	45%	H23	-	41.5%	66.1%	73.7%	-	25	72	67.2										
			H24				-	43.0%	62.5%	67.3%	-	25	72	67.2											
			H23				-	10.7%	16.4%	18.3%	-	0	28	16.3											
			H24				-	10.1%	7.3%	14.9%	-	0	28	16.3											

章	節	現状と課題	施策の展開	数値目標(県)			管内現状(~H25)				管内現状(H26.3.6現在)				出典		
				項目	は圏域ごとの数値目標 計画策定時現状	H29目標											
5	精神疾患	相談機関への相談や精神科への受診に対して様々な要因により 早期受診が困難 地域で自立した社会生活を営むため、 医療機関や地域の支援体制 が必要 精神科救急 の限定的な開所時間や身体疾患の合併患者に対する非受入が課題 県民の 自殺者数が、10年以上にわたり毎年200人 を超えた状況で推移 本県は高齢化が全国より進んでいるため、 認知症対策 が急務	かかりつけ医と精神科医との連携 による早期に適切な医療が受けやすい体制づくり 医療、保健、福祉、教育、就労などの 関係機関が連携した支援の充実 精神科救急医療体制の整備 に向け関係機関と検討を行い推進 心の健康づくりや精神疾患に関する 正しい知識、医療機関の情報について普及啓発 早期診断・早期治療 ができる医療連携体制の構築	平均残存率	27.9%(H23)	24.0%									死亡率(人口10万対): 内閣府発見日住所在地警察庁データ 山梨県常住人口(総人口)平成25年10月1日		
				退院率	22.0%(H23)	27.0%											
				自殺死亡率	25.1(H23)	減少	H23	18.5	19.2	11.9	21.3	22.4 (31人)	16.1 (6人)	17.4 (6人)		26.5 (19人)	
							H24	21.5 (30人)	21.3 (8人)	22.9 (8人)	19.7 (14人)						
	小児救急	医療圏別の 小児科医師では中北医療圏が多い 状況 コンビニ受診の増加 に伴う小児科医の疲弊	初期救急医療センター、二次病院 による小児救急医療体制の確保 コンビニ受診の抑制 を図るための普及啓発	医療施設従事小児科医師数	109人(H22)	124人											
				MFICU病床数	6床(H24)	6床											
	周産期医療	周産期死亡率 は全国より高い状況 分娩取扱い施設が中北医療圏に集中	医療機関相互の協力・連携による周産期搬送体制の確保 セミ・オープンシステム の普及及び 院内助産・助産師外来 の推進	NICU病床数	27床(H24)	27床											
				救急医療	不要不急にも係わらず 安易に救急車を利用して いる例が散見されるとの報告 夜間の在宅当番医制が未実施の圏域 がある等の地域格差を解消する必要	救急車の適正利用に関する 普及・啓発 各地区の在宅当番医制、夜間急患センター、休日等歯科診療所等 に対する財政支援											
	災害医療	県及び地区医療救護対策本部における 医療救護班等の派遣調整機能の強化 が必要 災害拠点病院の新たな指定要件の充足 に向けた機能強化が必要	医療関係団体、消防、警察、自衛隊等も加えた 情報交換や協議の場を 設置 災害拠点病院における 施設・設備整備の推進に対する助成	災害拠点病院のDMAT保有率	22.2%(H23)	100%	H25	100%(2/2病院)				100%(2/2病院)					
				災害拠点病院等の耐震化率	82.5%(H24)	100%	H25	78.6%(11/14病院)				85.7%(12/14病院)					
11	在宅医療	医師や看護師を確保し、 往診や訪問診療、訪問看護等の体制強化 が必要 入院機関と在宅機関の連携による 切れ目のない医療提供体制 の確保が必要 医師、歯科医師等の 多職種 の協働による疾患、重症度に応じた医療の提供が必要 24時間対応が可能である 総合的な緩和ケア体制 の構築が必要	医療と介護のコーディネートや地域の人材育成等の取り組みを行う 拠点の設置 在宅医療・介護従事者等による 協議の場や多職種の研修会 を開催 在宅医療の推進とともに、介護との連携を図る 地域包括ケアシステムを構築 在宅緩和ケア、ターミナルケアの専門知識や技術・経験を有する 従事者の育成 認知症サポーターの養成やかかりつけ医への研修会の開催など 総合的な支援体制づくり	24時間体制をとっている訪問看護ステーションの従業者数	36	40					38.3						
				訪問診療を受けた患者数(6カ月)	2,977	3275											
				往診を受けた患者数(6カ月)	527	580											
				在宅看取りを実施している病院、診療所数の合計数	4	5					病院:1/14病院 診療所:5/89診療所						
				在宅療養支援歯科診療所数	10	11					9						
6	健康づくり	一次予防に重点 をおいた健康づくりの施策を強力に推進する必要 生活習慣病の予防 を重点化する必要	生活習慣病等の予防等により 健康長寿の延伸を推進 ソーシャルキャピタル に基づく自治会等による共助活動を促進	健康寿命の延伸(男性)	71.20(H22)	平均寿命の増加分を上回る増加											
				健康寿命の延伸(女性)	74.47(H22)												
	2	高齢者保健福祉	高齢化率の上昇に伴い、 要介護(支援)認定者、認知症高齢者が増加	医療、介護、予防などを包括的、継続的に受けられる 地域包括ケアシステムの構築													
	3	障害者保健福祉	障害者のライフステージに応じた 二重した相談支援体制の充実 が必要	保健、医療、福祉、労働、教育など 様々な分野が連携した支援													
	4	母子保健福祉	ハイリスク妊娠の早期抽出等を目的とした 妊婦健康診査 の受診が重要 育児ストレスによる 虐待 が年々増加	妊娠中に必要な14回の 妊婦健康診査に対する公費助成 児童虐待防止 を図るため、養育支援訪問事業の実施を促進					管内	山梨市	甲州市	笛吹市	管内	山梨市	甲州市	笛吹市	母子保健事業報告
					妊娠11週以下での妊娠届出率	85.4%(H23)	100%	H23	87.4%	88.1%	89.3%	86.6%	90.2%	93.8%	84.5%	90.6%	
					1歳6ヶ月児健診受診率	93.9%(H23)	100%	H23	95.7%	93.2%	100.0%	95.3%	93.9%	90.1%	98.4%	94.1%	
								H24	96.1%	94.0%	97.5%	96.4%					
	3歳児健診受診率	90.8%(H23)	100%	H23	88.6%	95.2%	96.5%	89.5%	93.7%	95.4%	97.9%	91.5%					
				H24	93.9%	92.4%	100.0%	92.5%									